

洪水対応演習を実施！！



立山砂防事務所では、土砂災害発生時における関係機関への災害情報報告や立山砂防事務所支部体制発令演習等を行い、土砂災害発生時の緊急かつ適切な対応に資する事を目的に実施しました。

日時：平成27年 5月19日（火）9：00～17：00

場所：立山砂防事務所（災害対策室）

参加者：職員全員

演習内容

● 降雨状況

- ・ 9時00分 富山県中新川郡立山町芦峯寺千寿ヶ原地先の千寿ヶ原観測所において、累計雨量84mm、時間最大雨量28mmを観測。
- ・ 11時00分 千寿ヶ原観測所において、累計雨量161mm、時間最大雨量32mmを観測。
- ・ 12時00分以降、降雨なし。

2. 土砂災害の発生状況

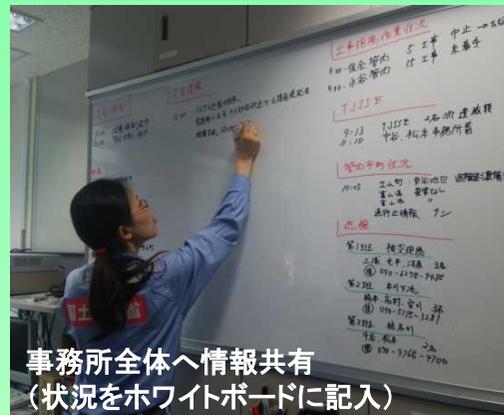
- ・ 常願寺川左支溪カラ杉谷（天鳥砂防堰堤下流）下流において山腹崩壊が発生。
- ・ 崩壊土砂量は約220,000m³で規模は長さ約110m、幅約100m、平均厚さ約20m。
- ・ 川幅約100mの内、約60mの幅で堆積している。
- ・ 川の流れは一部確保されており、湛水は確認されない。

3. 立山砂防事務所の対応

- ・ 土石流による下流へ被害を与える恐れがあるため、
①関係機関への情報提供 ②土砂堆積箇所の監視 ③応急対策の検討 を実施。
- ・ 土砂堆積箇所にて監視員（2名）が崩壊斜面及び崩落土砂の監視を実施。
- ・ 今後の土砂流出による被害の軽減のため、応急対策下流の津之浦砂防堰堤にて、土砂捕捉量の増加を目的とした、ブロック積工（222個）を施工。
- ・ 崩壊斜面は、ワイヤーセンサー等で監視。

<演習後の反省会での討議内容>

- ・ 臨機にシナリオを変更したが、適宜柔軟に対応できた。
- ・ 水谷出張所が開所してからの訓練も実施すべき。
- ・ メディア対応に向けた資料準備も必要。



事務所全体へ情報共有
(状況をホワイトボードに記入)



北陸地方整備局全体への情報共有
(パソコンのシステムへ入力)

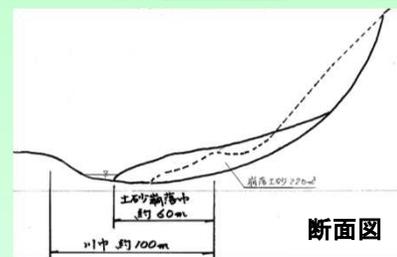


演習での崩壊状況図面

平面図



復旧方法の検討



断面図

今回の演習での課題や反省点を討議し、今後の災害対応に役立てます。